



日刊労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(22)7207番

93.7.8 No.3825



東京サミット 世界危機・侵略戦

争に拍車をかけることは明らか

アメリカのイラク爆撃弾劾

アメリカ・クリントン氏は七月七日からの東京サミットを前にした六月二十七日、イラクの首都バグダッドに巡航ミサイル「トマホーク」による爆撃を強行した。「ブッシュ暗殺計画への報復」などというとんでもない口実をもって、民衆の犠牲が出ることを百も承知で、首都爆撃に踏み切り、多くの民衆を虐殺した。

サミットの直前に敢えて強行されているところに重大な意味がある。要するにこの爆撃は、アメリカの没落の中で中東における帝国主義支配の再建と他帝国主義諸国への軍事的喝喝を目的としていることは明白である。

「侵略強盗」どもの首脳「会谈」 「サミット」を許すな!

こうしたなかで、七月七日から九日、戒厳体制の中東京サミットが開かれる。アメリカのイラク爆撃、ソマリア、ボスニアなどへの戦争拡大と北朝鮮・朝鮮民主主義人民共和国への戦争挑発を議論し、さらにそれを推し進める会議であることは火を見るより明らかである。

信任案可決、自民党の分解・総選挙というかつてない政治危機のど真ん中で開かれるというのである。おりしも戦後最悪で長期的世界不況の一層の深刻化というなかでの会議である。そこで何が問題となり議論されるかはつきりと見てとらなければならない。

経済的危機を侵略戦争に転嫁!

経済面では、世界を覆い尽くす不況の続くなか、どの「先進国(帝国主義国)」も自分が生き延びるために汲々としており、結局どの国にとっても、不況の打開の方途は国外市場への進出・侵略以外にない。

ために「援助」という美名でこまかし、逆に金と軍事力をさらにつきこみ、再びアジアの支配者に成り上がろうとしているのである。

サミットは、表面では各国の首脳が笑顔で握手し、あたかも「協力関係」が持たれているかのように見せかけながら、舞台裏にまわれば、熾烈な対立、駆け引きの修羅場そのものである。

その返す刀で、犠牲を全て労働者人民に押し付け延命をを図ろうとしているのである。サミットという「経済成長」とは、結局のところ植民地諸国からの搾取・収奪の強化と国内の労働者の大量首切り、犠牲の転嫁に他ならないのだ。

そんななかで、今回特に日本政府は、サミットの焦点となるであろう貿易黒字批判をODA(A(政府開発援助)の拡大かわそうとしていいる。

ソ連邦の崩壊と湾岸戦争は、世界戦争の危機を一気に高めた。サミットはその危機・火花に油を注ぐものであり、断じて黙過することはできない。

しかも、ODAの対象はアジアである。要するに日本は、対不・欧輸出とアジアから搾り取った大金・黒字を批判をかわす

侵略戦争拡大の道「東京サミット」を徹底的に弾劾し、反戦・侵略阻止の闘いを強めようではないか!

家族揃って集ろう

陽光に翻る鉄輪旗の下
親睦と歓談の環が拡がる!



吉野山系 地団圓大会

【日時】 7月11日(日) 9時より
【場所】 九十九里・一松(ひつまつ)海岸
海の家「あいの」
【交通】 外房線茂原駅東口よりバス
白子車庫行で「一松海岸」下車
[茂原発] 8:10、9:11
※ 駐車場もあります。

「手作り」サークルが信頼を結びつける!